

リトルワールド 学芸通信④(2026 年度)

よりめき

リトルしゅもんカード

よくあるしゅもん回答集



みなさんは本館展示室出口（2階、第5室を出た先です）にある、
リトルしゅもん&はっけんカードの掲示板を見たことがありますか？
リトルワールドではっけんしたもの、気になったことカードに自由に書いてポストに入れておく
と、学芸員がコメントを書き込み、お返事を掲示するというコーナーです。
今回はそのコーナーから、よくある質問と、学芸員の名（迷？）回答を厳選してお届けします！

よくあるしゅもん TOP3

Q. どうやって資料（展示品）を集めたのですか？

A. 学芸員が実際に現地で交渉して入手しています。

現地で購入したもの、譲ってもらったもの、物々交換など様々な方法で入手しています。
家屋は、現地に建っていた家を解体してリトルワールドに建て直した「移築復元」と、
現地に建つ家屋をモデルに同じ材料、同じ建て方で建て直した「形態復元」があります。

Q. 展示室がこわいです。どうしたらこわくなくなりますか？
（学芸員の人はこわくないですか？こわいことは起こりませんか？）

A. こわいことは起こらないので安心してください！

資料を守るため展示室は少し照明が暗いですが、資料が動き出したりしたことは過去にはない
(はず)なのでご安心ください！よく本館展示室第5室が怖いというご意見をいただきますが、
学芸員はみんな仮面や資料がカワイイという人ばかりなので怖がる人はいません。コワケイ。

Q. 割れ目だいこはどうして大きい？どうたたいたらいい音が出る？

A. 大きな音を出すため。中心の割れ目の横をグーでたたこう！

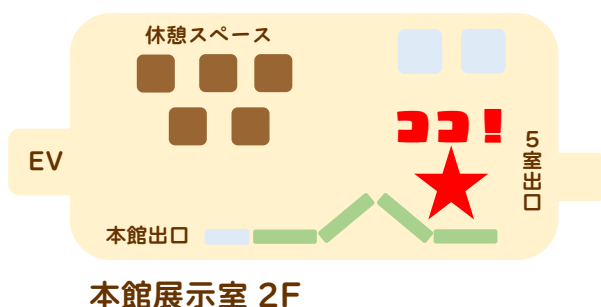
本館展示室第5室にある大きな柱のような割れ目だいこ。人を集める時の合図や儀礼に使うため、
大きな音が出るように大きく作られています。当館主任学芸員に聞いたところ、割れ目の横を
グーでたたくといい音がやすいそうです。レッツチャレンジ！

しゅもん&はっけん

けいしゅつ ぼしゅうちゅう
掲出&募集中！

しゅもん&はっけんカードは本館展示室2階にて、
掲出&募集しています！
リトルワールドへのしゅもんや、はっけんしたものを
かくもよし、みんなの回答を読んで楽しむもよし。
ぜひお立ち寄りください♪

【しゅもん&はっけんコーナーの場所】



本館展示室 2F



牛追い まつり (スペイン)

「牛追い祭」の名でも知られる「サン・フェルミン祭」。7月初旬、スペイン・ナバラ州の州都パンプローナで行われます。アーネスト・ヘミングウェイの『日はまた昇る』でご存じの方も多いのではないのでしょうか。



<https://www.sanfermin.com/es/el-encierro/historia-de-los-encierros-en-pamplona/sanfermin-2025/12-julio/>

サン・フェルミン祭はパンプローナの守護聖人である聖フェルミンをたたえるお祭りです。7月7日が聖フェルミンの日であり、その前後で祭は開催されます。

お祭りの期間中（およそ一週間）は毎日、様々な催し物が行われます。「牛追い（エンシエロ）」もその中の一つで、朝になるとウシが闘牛場までの道を駆け抜けていきます。人々は白いシャツを着、赤いバンダナを首に巻き、このウシの前を走るのです。ちなみに、なぜウシの前を走るのかについてはまったく説明されません。ウシの前を走る」行為が伝統として残っている、不思議なお祭りなのです。



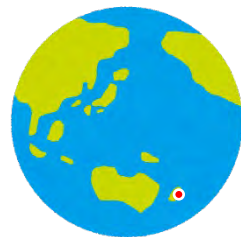
左：聖フェルミン。右：聖ザビエル。日本で有名なザビエルも実はパンプローナの守護聖人です。

<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1305356>

世界のお祭り 7月

7月は、アメリカの独立記念日やフランス革命記念日といった祝日があり、日本では七夕がよく知られています。世界各地には、ほかに7月頃に行われる祭りや行事が数多くあります。今回はその中から、北半球と南半球でそれぞれ一つずつご紹介します。

マタリキ (ニュージーランド)



マタリキは、ニュージーランドの先住民マオリの人々にとっての新年です。マタリキとはマオリ語で「プレアデス星団(日本では「昴(すばる)」)」を指し、この星団が北東の空に昇ると新年を迎えます。

マタリキは、ニュージーランドが本格的な冬を迎える6月中旬から7月上旬頃に訪れますが、正確な日付は毎年異なります。

収穫を終えた冬の時期、マオリの人々は家族とゆったりとした時間を過ごし、ごちそうを囲んで新年を祝い、その年の豊作を祈願します。日本のお正月と同様に、家族との絆を確かめ合う大切な行事なのです。



<https://maorilandfilm.co.nz/maoriland-announces-two-festivals-at-matariki-2022/>

2026年のマタリキは7月8日から7月11日で、7月10日(金)が祝日となります。この期間には、ニュージーランド各地でさまざまなマタリキ・フェスティバルが開催されます。